

早急に庁舎一元化を！

提言どおり久木野庁舎の増改築案を確認



去る11月25日、役場久木野庁舎会議室において庁舎整備特別委員会（委員長・古庄正治 議員）が行われ、庁舎の一元化について協議が行われました。

当特別委員会では平成21年11月19日付けで庁舎の一元化について村長に提言を行ったが、その後1年を経過しても行政サイドの結論が出ていないため、再度委員会としての役割と責任を果たすための協議及び検討を行いました。

協議の結果、『提言どおり久木野庁舎の増改築を行い早急に庁舎の一元化を図り、住民サービスの向上と行財政改革を推進していくこと』を再確認しました。

経年指標 ⇒ 建築後現在に至るまでどれくらい劣化しているかを数値で表したものです。数値が1に近いほど劣化が進んでいないことになります。久木野庁舎の場合、建築後27年たっていますが指標では建築後1年くらいしか使っていない状況にあるとの診断結果でした。

1 現地調査結果一覧表		No.	表名																																		
1 経年指標…新築時 1.0 : 現在 0.985 建物名 : 久木野庁舎 竣工年 : 昭和68年(築後27年経過) 構造 : 鉄筋コンクリート造 調査日 : 平成22年 9月 28日 目的 : 経年による劣化状況を測定し、新築時からの耐力低減率を数値化することで、耐久性能の材料とする。		4 中性化…標準深度を超える中性化進行なし ① 標準深度(今回) 築後 27年経過 … 1.92 cm ② 実測値 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">モルタル仕上部</th> <th colspan="2">打放し部</th> </tr> <tr> <th>平均値</th> <th>最大値</th> <th>平均値</th> <th>最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>1箇所中0箇所</td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>8箇所中0箇所</td> </tr> </tbody> </table>		モルタル仕上部		打放し部		平均値	最大値	平均値	最大値	柱	0.0	0.0	1箇所中0箇所	壁	0.0	0.0	8箇所中0箇所																		
モルタル仕上部		打放し部																																			
平均値	最大値	平均値	最大値																																		
柱	0.0	0.0	1箇所中0箇所																																		
壁	0.0	0.0	8箇所中0箇所																																		
2 経年指標…新築時 1.0 : 現在 0.985 ① T= 0.985 (S58年 月 建築・築後 27年 - ヶ月経過)		5 鉄筋被り厚と発錆…鉄筋の被り厚不足及び著しい発錆は無い ① 使用鉄筋…主筋→φ 27.2 mm 帯筋→φ 12.9 mm ② 発錆状況… <table border="1"> <thead> <tr> <th>ランク</th> <th>発生率</th> <th>発生箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無</td> <td>100%</td> <td>2箇所中2箇所</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>0%</td> <td>0箇所中0箇所</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>0%</td> <td>0箇所中0箇所</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0%</td> <td>0箇所中0箇所</td> </tr> </tbody> </table> ③ 被り厚…主筋→ 平均値 7.6 cm 最小値 7.6 cm 帯筋→ 平均値 8.3 cm 最小値 8.3 cm		ランク	発生率	発生箇所	無	100%	2箇所中2箇所	A	0%	0箇所中0箇所	B	0%	0箇所中0箇所	C	0%	0箇所中0箇所																			
ランク	発生率	発生箇所																																			
無	100%	2箇所中2箇所																																			
A	0%	0箇所中0箇所																																			
B	0%	0箇所中0箇所																																			
C	0%	0箇所中0箇所																																			
3 ひび割れ…梁に0.2mm程度のひび割れの発生 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">最大ランク</th> <th colspan="2">a:0.3mm以上</th> <th colspan="2">b:0.2mm程度</th> <th colspan="2">c:0.1mm未満</th> </tr> <tr> <th>総減点数</th> <th>最大ランク</th> <th>総減点数</th> <th>最大ランク</th> <th>総減点数</th> <th>最大ランク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床・小梁</td> <td>IV</td> <td>0.000</td> <td>II</td> <td>0.002</td> <td>II</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>大梁</td> <td>IV</td> <td>0.000</td> <td>II</td> <td>0.007</td> <td>I</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td>柱・壁</td> <td>IV</td> <td>0.000</td> <td>II</td> <td>0.025</td> <td>IV</td> <td>0.000</td> </tr> </tbody> </table>		最大ランク	a:0.3mm以上		b:0.2mm程度		c:0.1mm未満		総減点数	最大ランク	総減点数	最大ランク	総減点数	最大ランク	床・小梁	IV	0.000	II	0.002	II	0.000	大梁	IV	0.000	II	0.007	I	0.004	柱・壁	IV	0.000	II	0.025	IV	0.000	6 その他 ① 不同沈下…不同沈下傾向なし(1/950) ② ジャンカ…著しい発生は見られない。 ③ 塵上防水…著しい劣化は見られない。 ④ シール防水…経年劣化が見られる。	
最大ランク	a:0.3mm以上		b:0.2mm程度		c:0.1mm未満																																
	総減点数	最大ランク	総減点数	最大ランク	総減点数	最大ランク																															
床・小梁	IV	0.000	II	0.002	II	0.000																															
大梁	IV	0.000	II	0.007	I	0.004																															
柱・壁	IV	0.000	II	0.025	IV	0.000																															
4 コンクリート強度…強度は良好 ① 設計基準強度 $F_c = 240 \text{ kg/cm}^2$ ② 実測値・コア壁 (各階推定強度) <table border="1"> <thead> <tr> <th>推定強度</th> <th>1階</th> <th>2階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>24.8 N/mm^2</td> <td>42.2 N/mm^2</td> </tr> </tbody> </table> ・シュミット壁 (各階推定強度) <table border="1"> <thead> <tr> <th>推定強度</th> <th>地階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>28.4 N/mm^2</td> </tr> </tbody> </table>		推定強度	1階	2階		24.8 N/mm^2	42.2 N/mm^2	推定強度	地階		28.4 N/mm^2	総合考察 建物の構造性能は、現状の耐震基準(S56年施行)で設計・施工されており問題は無い。 当該建物の経年指標は、『0.985』であり、新築時を1.00とした場合、0.015%の低減率であった。 構造部材ひび割れも少なく、強度も設計基準以上の数値、中性化はほとんど進行しておらず、内部鉄筋の発錆も見られなかった。 上記結果より、当該建物の耐久性能は高く、今後保守点検を定期的に行うことで、長期的な使用が可能である。																									
推定強度	1階	2階																																			
	24.8 N/mm^2	42.2 N/mm^2																																			
推定強度	地階																																				
	28.4 N/mm^2																																				

川西市役所を表彰訪問。中央は挨拶される大塩市長。



大盛況に終わった、南阿蘇村の特産品販売。

川西市と交流始まる

南阿蘇村の産品を市のイベントで販売

去る11月14日、兵庫県川西市で行われた同市のイベントに南阿蘇村（副村長・議員など11人が表敬訪問）が初めて参加しました。これは、関西村人会での交流会がきっかけとなり、2年越しの思いが実り川西市との交流が始まったものです。

イベントには本村の商工会・観光協会から特産品などが出品、販売され大盛況のうちに完売しました。

これを機会に、お互いの交流（人と物産）がますます盛んになることが期待されます。